

# 甲州街道(お茶壺道中)ウォーク・第5回

・開催日 2014年7月23日(水)

・コース 韮崎駅(トイレ) → 鯉沢横丁 → 双葉JCT → 二十三夜塔 → 双葉支所(トイレ) → 自性院 → ドラゴンパーク(昼食) → 称念寺(トイレ) → 県立美術館(トイレ) → 商工会議所 → 善光寺(トイレ) → 酒折宮 → 酒折駅

・距離 約20km

・集合 韮崎駅 9時30分

・解散 酒折駅 15時頃

・担当 小塚敏夫 多賀純夫

18世紀から昭和初期、「講」を組織した人々が集まって、月を信仰の対象として精進修行し、飲食を共にしながら月の出を待つという行事。供養のしるしとして建てた石碑。本尊は勢至菩薩。十三夜(虚空蔵菩薩)十五夜(大日如来)十七夜、二十二夜(観音様)もある。

**二十三夜塔**

虫塚と呼ばれるところで、この川筋は虫の名所であった。芭蕉の句碑には「昼みれば 首すじ 赤き 虫かな」と書かれている。

**芭蕉の句碑**

**泣き石**

1582年3月高遠城が落城すると、武田勝頼一行は完成したばかりの新府韮崎城に火を放ち、大月岩殿城に向けて落ちて行った。その途中、勝頼夫人はこの地で燃える新府城を振り返り涙を流した、との言い伝えあり。

**自性院**

1570年、関利界翁禅師が開山した真言宗の寺。当山の本尊は木坐像で、弘法大師の作と伝えられている。現存する参道は、1765年の敷設である。

**ドラゴンパーク**

**赤坂供養塔**

安政年間に「南無阿弥陀仏」の六号名号を本尊として、供養のために建立された念仏講中による信仰的な表現である。

**称念寺**

ここには「くり抜き石井戸」という、自然石の角を削り積み上げた井戸があり、市内でも現存しているのは数件である。この井戸は、上水道ができるまでは付近の生活用水として利用していた。また、甲州街道に面していたため、往来する人々の休憩場所として「お休み井戸」とも呼ばれていた。



開基、武田信玄が川中島合戦の折り、信濃善光寺の焼失をおそれて1558年ご本尊「善光寺如来」などを移した。

**善光寺**

**県立美術館**

**酒折宮**

**酒折駅**

ヤマトタケルが東征した帰路、酒折の地に立ち寄った際、これまでの行程を家臣に歌いかけたところ、身分低き老人が当意即妙に答歌したと、「古事記」「日本書紀」に記載がある事から連歌発祥の地と云われている。

